

# うつ病予防講演会

市では、うつ病・自殺予防対策の一環として講演会を開催します。講師には、ご自身もうつ病を克服された経験をお持ちの女優、音無美紀子さんを招き「うつ病が教えてくれたこと、まず一步を踏み出して」と題して講演いただきます。申込不要です。

**期日** 9月13日(火)  
**時間** 午後6時30分～8時  
(午後6時開場)  
**定員** 400人  
**対象** 精神保健関係者ほか  
**場所** 市民文化会館  
小ホール(昭和町1)



問合せ先 **健康推進課**  
☎35-3160

まずは、声をかけあうことから始めてみませんか

9月10日～16日は自殺予防週間です

## ●ごみ収集は実施します

### 資源リサイクルセンター

### 工事につき炉を停止(9月21日～10月2日)

三福寺町にある資源リサイクルセンターでは、9月21日(水)から10月2日(日)の間、制御系設備更新工事のため焼却炉を停止します。この間、市民のみなさまには、より一層の「ごみの減量」をお願いします。

週2回の収集は通常どおり行いますが、紙くず、庭木、ふとんなどの腐敗しにくいごみは、停止期間中、排出を控えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### 問合せ先

資源リサイクルセンター  
☎35-1244

と不安な思いを笑顔で必死に隠していたように見えたことを今でも覚えている。

「そこに通いなれた学校があるのに通り過ぎて行くのは複雑な感じだったな」と、すっかり仲良くなった友達は当時の思いを話してくれた。統合を機に町を離れた友達もいたという。町境以上に見えない大きな壁を乗り越えてきた彼らだからこそ、生まれ育った故郷を思う気持ちは人一倍であると思う。

そんな思いにふと気がついた時、自分は生まれた故郷を批判し、便利さや華やかさばかりを求めて人生を進んでいいのかと考える。先日出かけた修学旅行では、いかにも都会という神戸や広島島の街のにぎやかさに触れた。こんな街で暮らしてみたいと思った。三日間の研修を終え地元の駅に降り立った時、沢山の保護者や先生方が柵から身を乗り出すように笑顔で迎えてくれていたのを見て、ああ僕の故郷だ、大切な人が帰りを待っていてくれる故郷だと感じ目頭が熱くなった。次の日ふと外を眺めた時、新緑が目染み。今まであまりに近すぎて圧迫感さえ感じていた山々を愛おしく感じた。こんなに温かく自分を包んでくれる故郷が、過疎化により空き家が増え、田畑や山々が荒れ、伝統の祭りや行事がでなくなると次第に寂れていくのをただ見過ごしていいのかとふと思った。地域の人は随分前から真剣に考え取り組んでいる。

自分にできることは何だろうか。自分は住み続けると断言できるだろうか。僕も含め仲間

の多くは故郷を離れて生活することになるかもしれない。住み続けることだけが故郷を守ることではないと思う。離れていても故郷のためにできることはあるはずだ。自分自身にそして仲間にも伝えたい。故郷のことをもっと知ろう。どこにいても忘れないでいよう。故郷で育ったことを誇りに思おう。心から愛そう。世の中にその良さを発信しよう。そして時々戻って、故郷を守ってくれている家族や人々に感謝の気持ちを伝えよう。今後さらに過疎化が進み益々不便さを実感するだろう。でも僕は思う。コンビニがないなら持ち物を早めに確認するのだ。バスに乗り遅れたら笑い飛ばして町を探検しよう。物理的な不便さは心の豊かさで打ち消せばいいのだ。そう、今僕は故郷朝日町が大好きだ。



中村教育長(右)に受賞報告をする清水さん。「受賞に大変驚きましたが、とてもうれしかったです」と喜びを語りました。(8月9日撮影・市役所)